

平成21年度

農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査

農林水産省改革の取組状況に関する意識・意向調査結果

この調査は、平成21年4月上旬～中旬に、農林水産情報交流ネットワーク事業の全モニター8,000名（消費者モニター1,500名、農業者モニター2,500名、林業者モニター500名、漁業者モニター1,000名、流通加工業者モニター2,500名）に対して実施し、消費者モニター1,162名、農業者モニター1,407名、林業者モニター324名、漁業者モニター517名、流通加工業者モニター1,394名の計4,804名から回答を得た結果である。

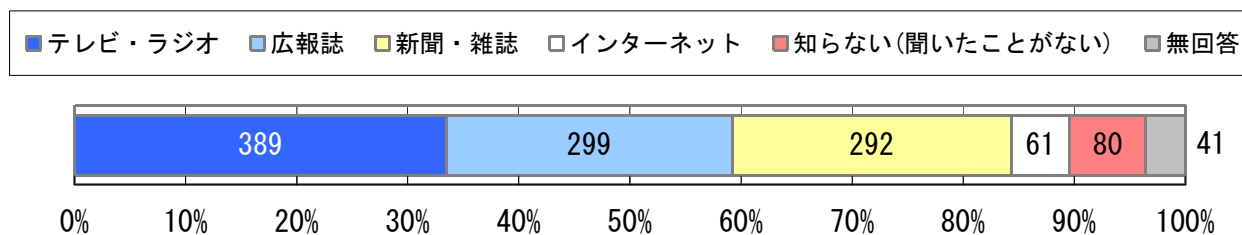
【調査結果の概要】

1 消費者モニター（回答者数1,162名）

(1) 農林水産省改革の取組状況を主に知り得た広報媒体

農林水産省改革の取組状況に関して、主にどのような広報媒体を通じてお知りになったのかを消費者モニターに尋ねたところ、「テレビ・ラジオ」が最も高い割合(34%)で、ついで、「広報誌」(26%)、「新聞・雑誌」(25%)であった。

図1 農林水産省改革の取組状況を主に知り得た広報媒体



(2) 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価

農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価を消費者モニターに尋ねたところ、「政策や補助事業の説明に使用する資料の分かりやすさ」について最も高い割合(67%)で「評価できる」とされた。ついで、「政策説明の内容を国民の皆様により深くご理解いただくための工夫」(65%)、「国民の皆様にとって関心の高い議題や内容が選択された政策説明会の案内」(59%)であった。

一方で、「国民の皆様が必要とする情報を必要な時に提供」及び「リスク・危機管理への対応」については、「評価できる」とした割合がどちらも3~4割程度となっており、「評価できない」と同程度であった。

また、「農林水産省職員の接遇の改善」については、「満足できる」(45%)に対し、「満足できない」(16%)であった。

図2-1 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価（政策説明会等に参加されたことのある方による回答（回答者数400名））

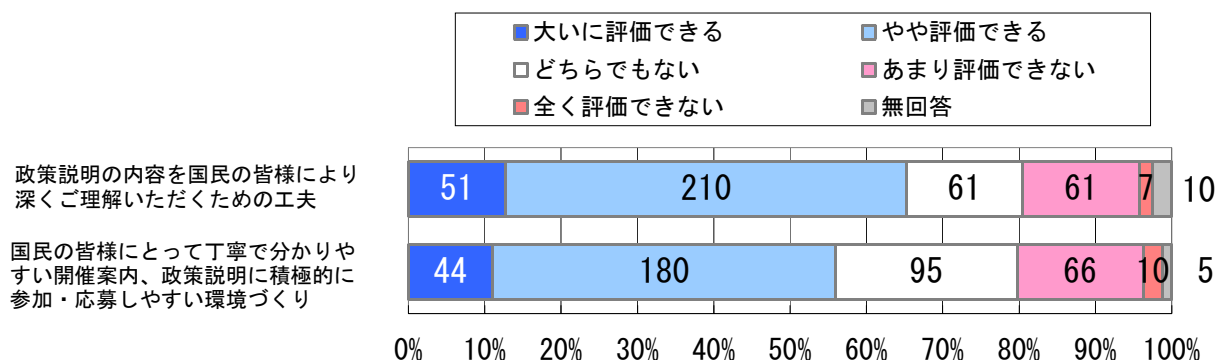


図 2-2 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価

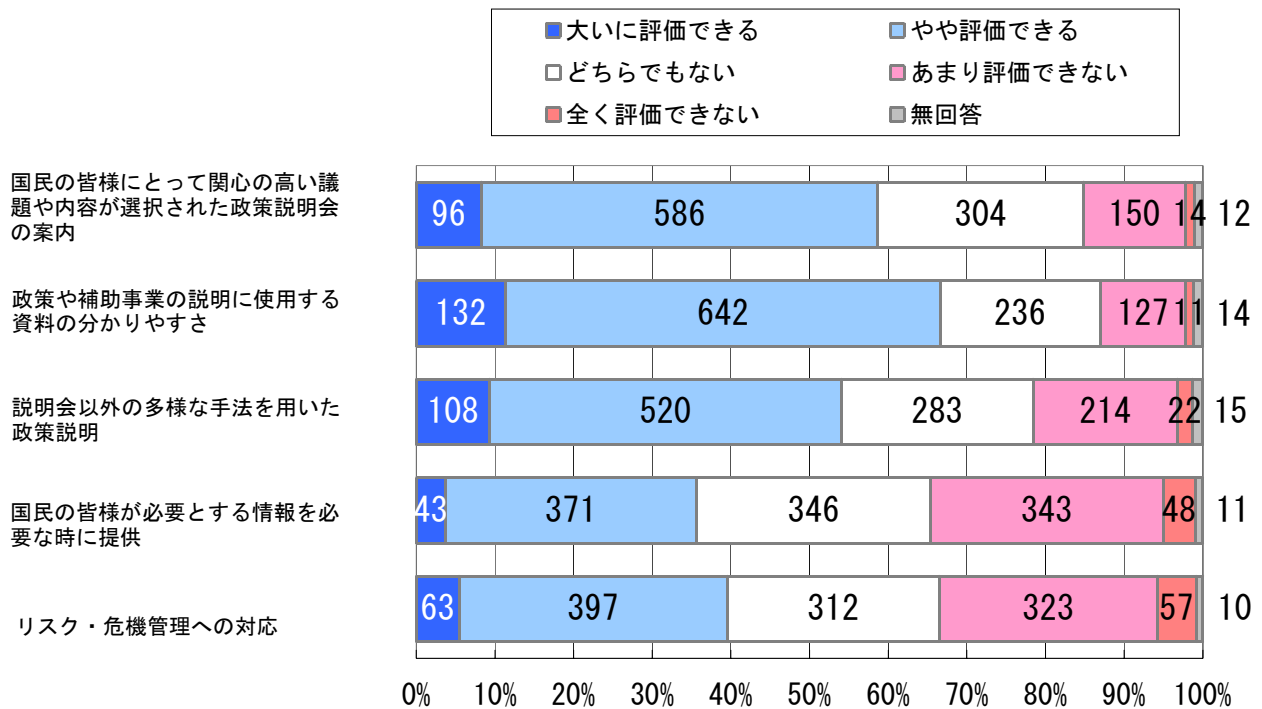
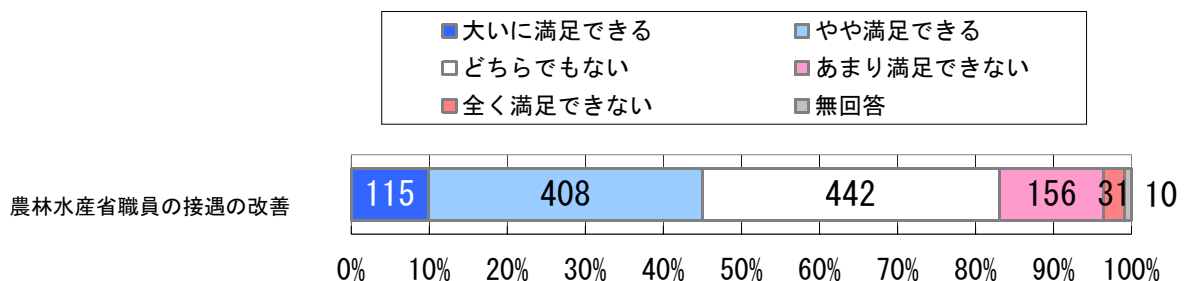


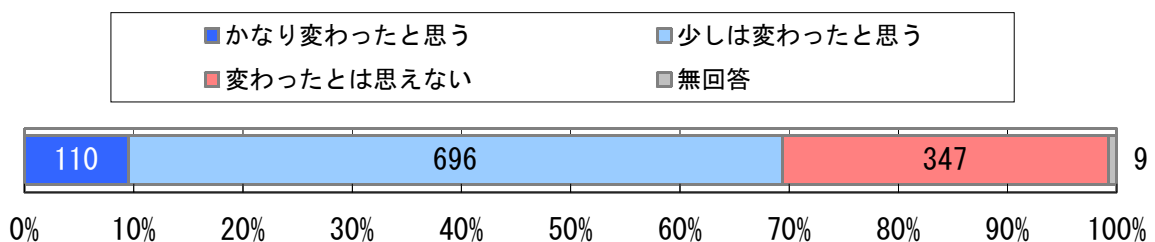
図 2-3 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価



(3) 農林水産省改革の取組による農林水産省の変化

「農林水産省改革の取組による農林水産省の変化」について消費者モニターに尋ねたところ、69%のモニターが「変わったと思う」としたのに対し、30%のモニターが「変わったとは思えない」と回答した。

図 3 農林水産省改革の取組による農林水産省の変化

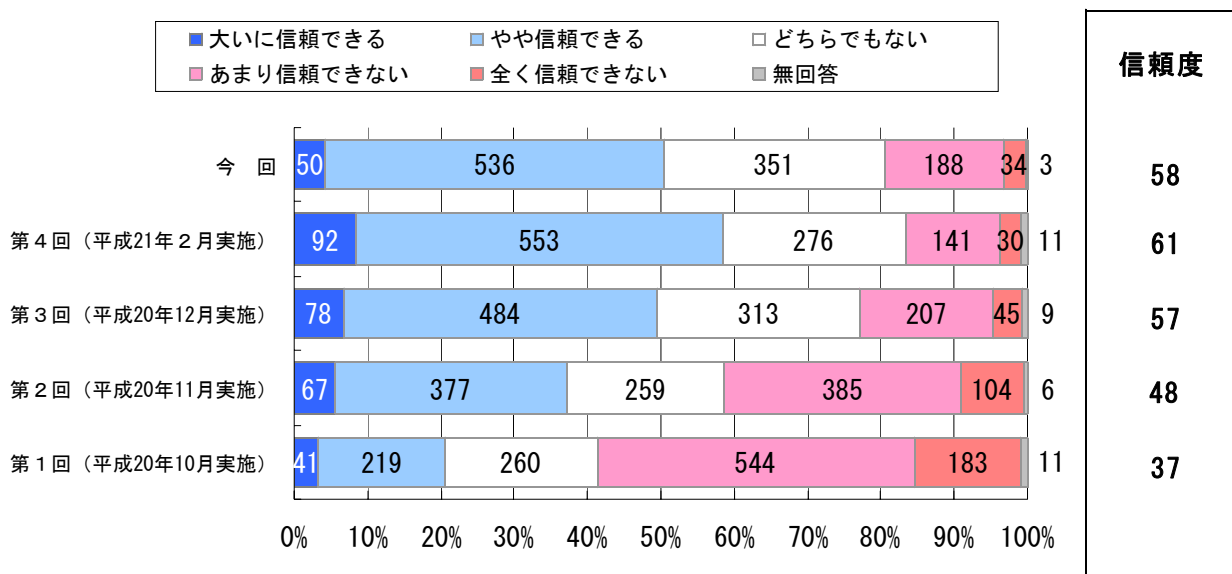


(4) 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組

平成20年10月以降、定期的に調査してきた「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組に対する消費者モニターの評価については、50%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、19%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「58」となった。

図4 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組



- ※ 第4回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省の広報活動に関する意識・意向調査結果」(平成21年2月26日公表)
- 第3回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果(第2回)」(平成20年12月25日公表)
- 第2回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果(第1回)」(平成20年11月28日公表)
- 第1回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省の役割に対する期待と評価に関する意識・意向調査」(平成20年11月28日公表)

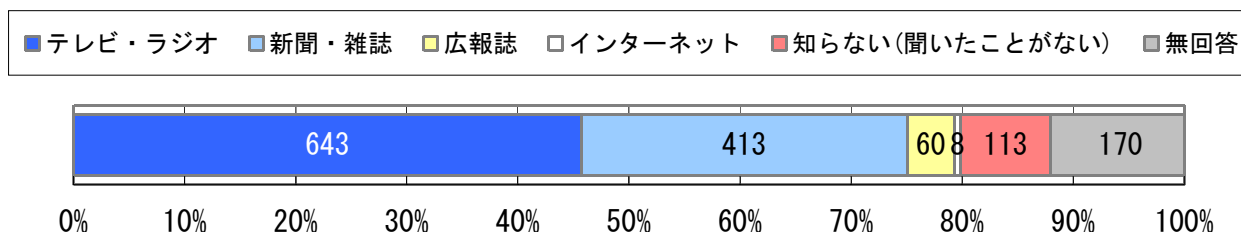
「大いに信頼できる」を100
 「やや信頼できる」を75
 「どちらでもない」を50
 「あまり信頼できない」を25
 「全く信頼できない」を0
 と指数化したときの平均値

2 農業者モニター（回答者数1,407名）

(1) 農林水産省改革の取組状況を主に知り得た広報媒体

農林水産省改革の取組状況に関して、主にどのような広報媒体を通じてお知りになったのかを農業者モニターに尋ねたところ、「テレビ・ラジオ」が最も高い割合(46%)で、ついで、「新聞・雑誌」(29%)であった。

図1 農林水産省改革の取組状況を主に知り得た広報媒体



(2) 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価

農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価を農業者モニターに尋ねたところ、「政策説明の内容を国民の皆様により深くご理解いただくための工夫」について最も高い割合(71%)で「評価できる」とされた。ついで、「国民の皆様にとって丁寧で分かりやすい開催案内、政策説明に積極的に参加・応募しやすい環境づくり」(61%)、「政策や補助事業の説明に使用する資料の分かりやすさ」(57%)であった。

一方で、「国民の皆様が必要とする情報を必要な時に提供」については、「評価できない」(39%)が「評価できる」(33%)を上回った。

また、「農林水産省職員の接遇の改善」については、「満足できる」(57%)に対し、「満足できない」(12%)であった。

図2-1 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価（政策説明会等に参加されたことのある方による回答（回答者数302名））

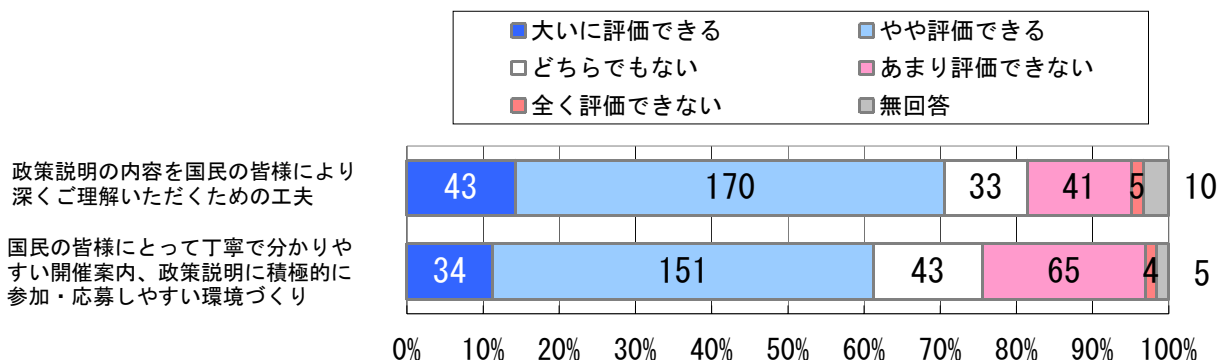


図 2 - 2 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価

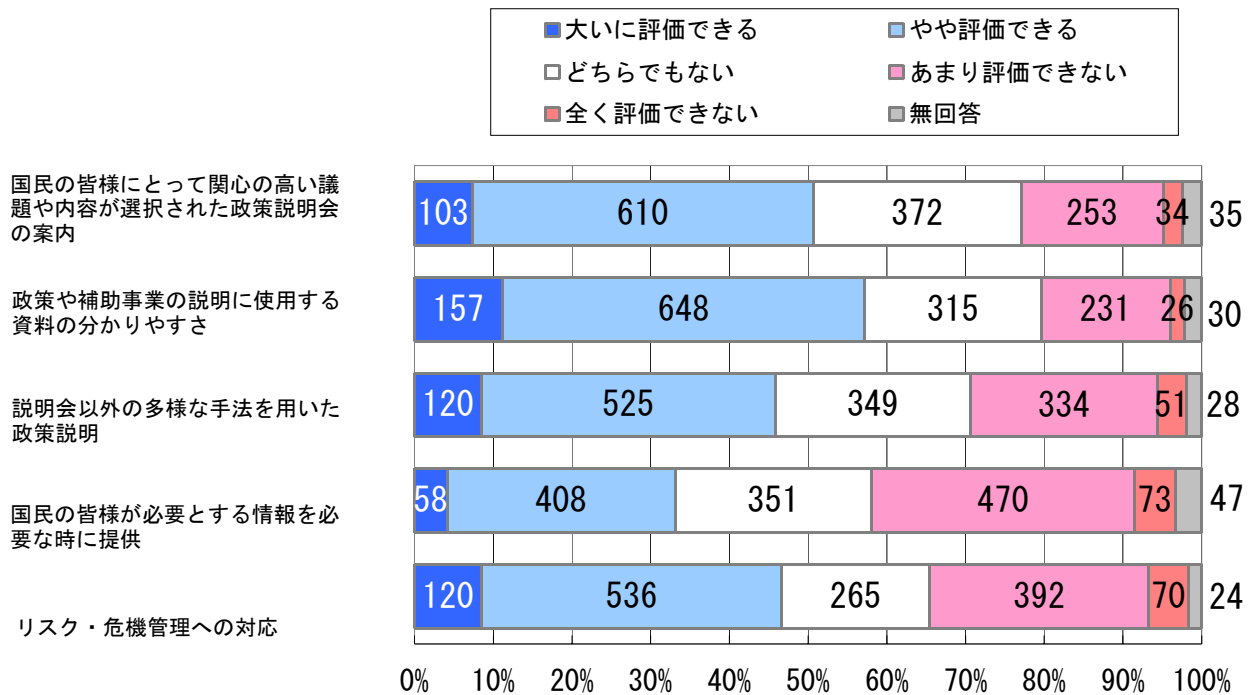
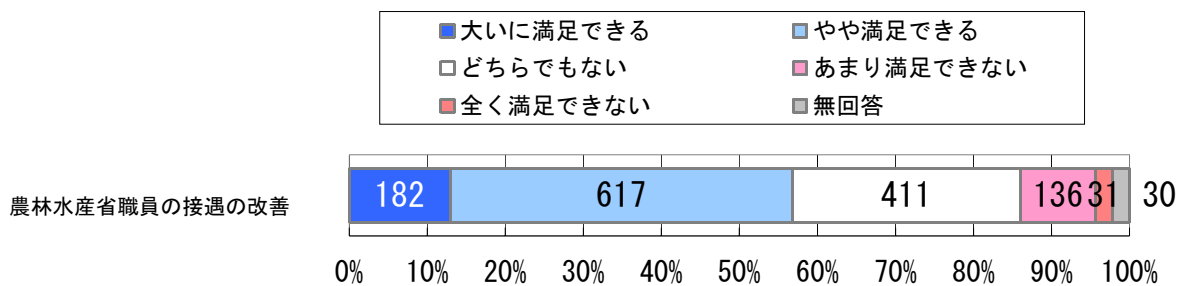


図 2 - 3 農林水産省改革の取組状況のうち、特に国民の皆様に関わりのある事項に対する評価



(3) 農林水産省改革の取組による農林水産省の変化

「農林水産省改革の取組による農林水産省の変化」について農業者モニターに尋ねたところ、60%のモニターが「変わったと思う」としたのに対し、37%のモニターが「変わったとは思えない」と回答した。

図 3 農林水産省改革の取組による農林水産省の変化

